

議会質問

第3回定例会・一般質問 (平成29年9月20日)

◆不育症治療費助成制度の導入について

質問：不育症とは、妊娠が困難な不妊症とは異なり、妊娠はするものの流産、死産を繰り返す病気である。名古屋市立大学の研究では、妊娠した女性の4割が流産を経験しており、不育症患者は国内に約140万人、毎年約3万人が発症していると推計されている。近年は研究が進み、適切な検査、治療を受ければ8割以上の方が出産にたどり着くということである。検査・治療代が高額なため、不育症治療費助成制度を導入する自治体が全国に広がっており、政令指定都市では、昨年度から静岡市、神戸市、新潟市、浜松市、札幌市が導入した。命を育む新たな事業として、不育症治療費助成制度の導入を強く求める。



答弁：不育症の原因や治療方法が様々であり、中には治療費が高額になる場合もあることから、経済的、精神的な面での支援が少子化対策からも検討すべき重要な課題のひとつと認識している。国でも調査研究が進められており、検査や治療の方法は整理されてきてはいるが、依然として医学的研究が行われている段階である。国による医学的調査研究の進展を今少し見極めていきたいと考えており、今後とも国や研究機関の動向を注視してまいりたい。

再質問：市長の見解を伺いたい。

郡市長答弁：私も不育症の方々からお話を聞かせていただく機会があった。大変重要なご指摘であると思う。他都市の導入事例も参考にしながら、どのような方策が可能なのか検討してまいりたい。

◆その他の主な質問項目

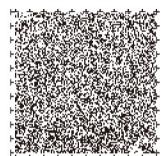
- おたふくかぜの予防接種を受けていない子どもの対応と周知の強化
- 未熟児・早産児・先天性の心臓病などの子どもが重症化する確率が高いRSウイルス感染症について、子ども医療費助成制度の所得制限により、高額な自己負担が発生する現状
- 仙台出身もしくは仙台にゆかりのある方に焦点を当てた観光の取り組みとSNSを活用した情報発信の強化
- 不育症のセミナー開催や保健教育での普及啓発の強化



決算等審査特別委員会 消防費(平成29年9月27日)・教育費(平成29年10月2日)

◆AED(心臓の停止時に電気ショックを行い救命措置ができる自動体外式除細動器)設置推進について

- 地域活動の拠点であるコミュニティセンターへの設置について、年間を通して多くの市民が利用する施設であるため、来年度予算に向けて進め



ていただきたい。

- 休日や夜間の緊急時対応としてコンビニへのAED設置の推進を求める。

◆小規模校における教育環境向上の取り組みについて

- 小規模校の課題解消のため、インターネット電話を利用した交流学習の実施や実施方法の工夫。

◆発達障がいの児童生徒の学習支援について

- 読み書きが苦手な発達障がいの児童生徒に有効な学習支援であるディジー教科書の普及啓発について、昨年の予算等審査特別委員会で、どれだけの児童生徒が必要なのか、実態調査をすべきと求めた。本市は今年1月に調査を実施し、小学校は203人、中学校は62人であったが、ディジー教科書の使用状況は小学校・中学校とともに1人。検討中は小学校6人であった。さらなる推進を求める。



決算等審査特別委員会で副委員長を務める(10月6日)



❖ 皆さまの声をカタチにしました!(実績抜粋) ❖

■国道286号線の長町中学校T字路の右折レーン工事始まる!

交通量が多いため、なかなか右折ができず危険であることから、右折信号をつけてほしいとのお声が多く寄せられておりました。平成29年度完成予定となりました。



■エフエムたいはく ラジオに初出演!

8月15日、「鈴木はるみの“ソーシャルで行こう!”」で、今年5月から始まった新企画、仙台市議会議員に聞く特集＜市議会に行こう!＞の第3回に出演しました。

「議員活動の“原点”になっているのはどんなんこと?」「大変なことは何?」「やりがいを感じるのはどんなんとき?」「市民の声を拾うためにどんなんことをしているの?」などの質問がありました。大変緊張しましたが貴重な体験をさせていただきました。



■佐保山16付近の旧市道と緑ヶ丘4丁目3付近のバス道路の舗装

